

# 矢作川流域圏懇談会通信

市民会議編 vol.1



発行日：平成 25 年 8 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

## ◆矢作川流域圏懇談会第5回市民会議を開催しました！

8月21日に矢作川流域圏懇談会第5回市民会議が開催されました。市民の方々が参集し、これからの市民会議について多くの議論がなされました。



日時：平成 25 年 8 月 21 日（水）18:00～20:30  
場所：豊田市職員会館 3 階 第 1 部会室  
参加者：17 名（事務局含む）

## ◆主な会議内容

### 新役員の選出について

規約により、役員任期は3年となっています。今回は任期を迎えた山川海の各部会の役員の方々の選出とあわせて、市民会議座長についても選出を行いました。

#### 山部会

座長：稲垣 久義 氏  
(矢作川水系森林ボランティア協議会 副代表)  
副座長：黒田 武儀 氏  
(BIO de BIO 代表理事)  
副座長：大島 光利 氏  
(奥矢作森林塾 理事長)

#### 川部会

座長：谷 さくら 氏  
(矢作川「川会議」代表)  
副座長：光岡 金光 氏  
(豊田市自然愛護協会 会長)  
副座長：小澤 祐治 氏  
(矢作川治水史研究会 代表幹事)

#### 海部会

座長：井上 祥一郎 氏  
(伊勢・三河湾流域ネットワーク 共同代表世話人)  
副座長：高橋 伸夫 氏  
(西三河野鳥の会 事務局)  
副座長：鈴木 陽子 氏  
(元 矢作川をきれいにする会 会長)

#### 新役員

座長：黒田 武儀 氏  
(BIO de BIO 代表理事)  
副座長：大島 光利 氏  
(奥矢作森林塾 理事長)  
副座長：山本 薫久 氏  
(都市と農村交流スローライフセンター 代表)

座長：光岡 金光 氏  
(豊田市自然愛護協会 会長)  
副座長：本守 真人 氏  
(近自然工法研究会 会長)  
副座長：小澤 祐治 氏  
(矢作川治水史研究会 代表幹事)

座長：井上 祥一郎 氏  
(伊勢・三河湾流域ネットワーク 共同代表世話人)  
副座長：高橋 伸夫 氏  
(西三河野鳥の会 事務局)  
副座長：鈴木 陽子 氏  
(元 矢作川をきれいにする会 会長)

※ 〇は市民会議の座長、太字が副座長

### これまでの各部会の取り組み状況について

- 山部会：山村を守る事例集を作ろうという動き。インタビューを行うのに、川、海も、森づくりガイドラインを作ってみようという準備をしている段階。木づかいガイドライン、具体的な作業に向け、前進している。
- 川部会：5、7、8月1回ずつWG。自分たちの活動に直接つながっていない。フィードバックできていない。大きな反省点。川は幅広い。山と海との関連を話し合う機会がなかった。
- 海部会：1回、2回は、今年度どうということをするかの会議。3回目に佐久島でプレ調査、実際にやってみて、4回目に干潟今年度は勉強で終わるが、始めのころよりは参加が増えてきている。

### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、専門職 後藤

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@iinet.or.jp) までお送りください。



## ◆話し合いでの主な意見

### ●山・川・海部会で市民が取り組めること

- 矢作川のある区間をモデル化して検討してきた。家下川をモデルとしたが、岡崎のほうでは行わないのか？（本守）
  - モデルは大事だけど、豊田に限定せず、色々なところをみていくことが重要。（高橋）
  - モデルで見た問題点を共通化して、参加者間で問題意識を共有できればよかった。（碓）
  - モデルを通じて流域圏として提言できるとよい。個別の活動団体では、なかなか提言までは難しい。（光岡）
  - 川づくりのためのガイドラインを作成してはどうか。（洲崎）
- 市民の思いを成果としてまとめて、地域部会等を通じ、学識・行政・関係団体と共通認識を図りたい。（本守）
- 日常の暮らしのレベルでとらえるのが市民、市民の力を大きくしていくということが重要。（黒田）

### ●流域一体化に向けて

（●意見 ➢ 回答）

- 砂の供給がないなか、漁協からはもっと砂をいれてほしいという意見が多くある。
  - 下水道は水をきれいにするが、海の生き物がほしがっていた栄養までとってしまう。
  - 合成化学の物質はいらないが、海を健康にする昔からある物質の供給はありがたい。
  - 川でも途中でたまりをつくるなどして改善できればよいと思っている。
  - 個人的には、上塚橋から上流は工夫ができるのではないかとと思っている。
- 市民会議の目的が情報共有の場にとどまっている。
  - 身を入れていくということが必要。市民は何かしたがっている。闊達にしている。村の寄合に近い。（黒田）
- 山づくり、川づくり、海づくりのガイドラインを期限を決めて作ってはどうか。（蜂須賀）
  - 山と川と海の市民が、それぞれのガイドラインをつくるのではなく、みんなで作ることでどうか。（黒田）



## ふりかえりシート



【よかったと思うこと】人数が少なかったが、問題点がはっきりする議論ができた。（内田）／市民版の山づくりガイドライン、川づくりガイドライン、海づくりガイドライン（いずれも仮称）（市民なりの青写真を描いてみるということか？）は、とてもいいと思った。ぜひ、やりたい。（黒田）／山、川、海のみなさまの意見を聞く事が出来良かったと思う。（大島）／皆さんの意見は聞いた。（高橋）／出席者の本音が出せてよかった。（碓）／問題の焼き直しができたが、結論があいまい。（本守）

【よくなかったと思うこと】やはり人数が少なかったため、意見の多様性が汲み取れていなかったのではないかと心配である。（内田）／出席者が少なくて、多くの方々の出席をのぞむ。（大島）／もう少し具体的な成果が出るような、取り組みが欲しい。（高橋）／希望と夢を語るだけでなく、現実を見える事が大事。できることから、一歩、一歩歩むことが大切だと思う。（碓）／2人の人が意見なし。（本守）

【懇談会への市民の関わり方への提案】もっと、自由な提案がメーリングリストに出るようにしたほうがいい。各会議の報告ももっと、こまめにメーリングリストにあげてくれば、市民から提案が出やすくなると思う。（内田）／市民は、やる気である。事務局と調整したい。シンポジウムのこと、土佐の勉強会、その他の勉強会（市民塾？）について具体化したい。（黒田）／各WGに出された問題点を整理し、その後の追跡や方向性を明らかにしていくと良い。（光岡）／一般市民との関わりが必要であると思う。（大島）／市民で自然のおまつり市民で、汗をかいて、楽しい集まりをしたい。（碓）／市民会議の具体的な目標を設定し、ロードマップを作るといい。「目標の提案者は市民であるべき」と、こだわらなくてもいいと思う。（洲崎）／市民とは誰が。河川管理者以外は全て市民としたら!!（本守）

【質問など】懇談会現約は改正できるか。矢作川→矢作川等（本守）

## 今後のスケジュール（予定）



- 山村再生担い手づくり事例集への取材募集
- いい川、いい川づくりワークショップ
- 9月に流木調査

